

平成 22 年 12 月



金融広報中央委員会  
(事務局：日本銀行情報サービス局内)

## 「子どものくらしとお金に関する調査」(第2回) へのご協力をお願い

知るぽると(金融広報中央委員会)ホームページにアクセスいただきましてありがとうございます。

当委員会は、中立・公正な立場から正確でわかりやすい「金融経済情報の提供」と一人ひとりが賢い消費者として自立するための「金融経済学習の支援」を全国的に展開しています。

標題の「子どものくらしとお金に関する調査」については、学校での金融教育の支援活動の参考とするため、平成 17 年度に初めて調査を実施したのですが、その後の子どもたちを取り巻く金融環境等の変化などを踏まえ、今般、5 年振りに第 2 回目となる調査を実施することといたしました(第 1 回調査の詳細は当委員会ホームページ参照)。

この調査は、児童・生徒のお金にまつわる日常生活(お小遣い・お年玉・携帯電話・インターネットなど)ならびに、お金に関する意識や金融経済に関する基本的な知識などを無記名のアンケート方式により、お聞きするものです。具体的な調査項目やスケジュールは、別表をご参照ください。

調査結果は、年齢段階別(小学校低学年・中学年・高学年・中学生・高校生)に全国平均および地域別平均(北海道・東北・関東・北陸・中部・近畿・中国・四国・九州の 9 ブロック別)に集計して、当委員会のホームページで公表いたします。調査にご協力いただいた学校に対しましては、当該校の単純集計結果等を全国平均ならびに地域別平均とあわせてご提供することとしております。これにより全国ならびに地域内の平均的な姿との比較が可能となりますので、その後の子どもたちに対する指導にも役立つものと思われま(集計にあたり、個々の生徒さんの回答が特定されることのないように、3 名以上での参加をお願いいたします)。

調査内容は多岐に亘りますが、回答に要する時間は 20~30 分程度を見込んでおります。調査票をご覧いただいたうえで、最終的に参加の可否をご判断いただくことでも支障ありません。また、調査票の回収等には費用負担は生じませんので、申し添えます。

調査の実施および集計は、専門の調査会社に委託いたしますが、データおよび個人情報の取扱いにつきましては、プライバシーの保護に十分配慮することをお約束いたします。

ご協力をいただける場合には、お手数ですが、下欄に所要の事項をご記入のうえ、**金融広報委員会事務局（FAX：03-3510-1373）**宛にFAXにてご連絡下さい（**締切り：平成22年12月24日<金>**）。

— なお、調査へご協力いただける場合には、学校所在地の教育委員会（市町村または都道府県の教育委員会）にその旨のご連絡をいたしますので申し添えます。できるだけ多くの学校にご参加いただけますれば、幸いに存じます。ご連絡をお待ちしております。

ご芳名		
貴校名		
貴校の住所	(〒 ) 都 道 府 県	
貴校の電話番号		
調査に協力できる 児童・生徒の年齢 および人数	小学校低学年	名
	中学年	名
	高学年	名
	中 学 生	名
	高 校 生	名

ご連絡いただきました情報は、適切に管理し、本調査の実施に関するご連絡等以外には利用いたしません。

【本調査に関する照会先】

金融広報中央委員会 事務局

〒103-8660 東京都中央区日本橋本石町 2-1-1 日本銀行情報サービス局内

担当：竹内俊久

TEL：03-3277-2168 FAX：03-3510-1373

E-mail：toshihisa.takeuchi@boj.or.jp

<http://www.shiruporuto.jp/>

以 上

## 「子どものくらしとお金に関する調査」(第2回) 別表

### 1. 設問項目 (予定)

対 象	調 査 項 目
小学校低学年以上共通	おこづかい・お年玉の有無・使途 家庭での手伝い・家事役割 親子の会話 お金に関する意識や知識
小学校中学年以上	おこづかいが足りなくなったときの行動* 携帯電話やインターネットの利用 貯蓄の有無
中学生以上の追加事項	アルバイトについての考え方 金融経済についての知識 電子マネー等の利用*
高校生向けの追加事項	アルバイト経験 将来の仕事についての考え方 お金に関する用語の理解*

\* = 第2回で追加予定

### 2. スケジュール (予定)

年 月	実 施 事 項
平成 22 年 12 月	調査協力校の募集
12 月末～23 年 1 月初	学校への調査票の送付
2 月末	調査票の回答締め切り
3 月～4 月	調査票の集計
5 月～6 月	調査結果の公表
6 月～7 月	学校への参考資料送付